

山陽時事問題懇談会(会員組織、代表世話人・松田正己山陽新聞社長)は19日、第363回倉敷会場例会を倉敷市本町の倉敷アイビースクエア、第388回岡山会場例会を岡山市中区浜の岡山プラザホテルで開き、ITコンサルティング会社「チェックフィールド」社長の目代純平氏が「IT社会の落とし穴～安心安全に使いこなすために」と題して講演した。要旨は次の通り。

## 山陽時事懇

昨年1年間でインターネット上に流れた情報総量は55エクスバイト。この単位はデジカメなどのメモリー容量を示すギガバイトの約10億倍で、フロッピーディスクの38兆枚分。今年はその2倍になるとされ、猛烈な勢いで増えており、情報過多の時代になっている。

こうした中、子どもを取り巻く環境は激変している。ネット接続できる機器はパソコン

# IT社会の落とし穴～安心安全に使いこなすために

チェックフィールド社長 目代 純平氏



もくだい・じゅんぺい  
1996年、中央大総合政策学部入学。在学中の99年に有限会社「チェックフィールド」を設立し、2006年に株式会社化した。経営者として顧客企業のIT全般の管理を行う傍ら、子どもや情報モラルに関する講演活動にも取り組む。著書に「子どものための『ケータイ』ルールブック」など。東京都出身。38歳。

## 必要な情報見極める力を

を招きやすく、仲間外れやいじめが起きることも珍しくなく。近年は「炎上」が増えている。SNS(会員制交流サイト)に投稿された問題発言や画像に批判が相次ぐことだ。スマホやSNSの普及、情報の拡散や検索が容易な機能の充実などが増加の要因だが、底流にはSNSへの誤解もある。匿名だから▽友

一つはフィルタリングなどでしっかり利用制限すること。もう一つは子どもが納得する、家庭でのルール作り。特に守れなかった時の対応も決めておく「二重構造」のルールが望ましい。  
ITは非常に便利だが、危険も隣り合わせだ。トラブルの大半はネットへの理解や知識の不足が原因。氾濫する情報の中から必要な情報を見極める力を身に付け、安心・安全に有効活用してほしい。

ン以外にスマートフォンや携帯電話、ゲーム機や携帯型音楽プレーヤーと多様化し、8割以上がモバイル機器でアクセスする。携帯電話を持ち始める時期も低年齢化し、東京都では小学3、4年が最多。関東では2011年の東日本大震災以降、この傾向が顕著だ。

中でも急速に普及するスマホは、簡単に写真・動画の撮影やネット上での公開ができ、トラブルが起きやすい。大人の7割が子どものスマホ利用に不安があるとするが、何が問題でどうしたらいいの

か理解できていない。JS6、苺差保、穂別：ネットですられる隠語だが、分かるだろうか。それぞれ女子小学6年生、1万5千円でサポート(援助交際)、ホテル代別の意味だ。援助交際の温床となる掲示板は数分で作成でき、実際、ネット上に無数にあるのが実態だ。  
無料通信アプリのLINE(ライン)は今や若者の通信手段の代名詞だが、依存が問題だ。たわいのないやりとりが四六時中続き、使わないと話題に乗り遅れる。また短文のコミュニケーションは誤解は二つのアプローチが不可欠。

達しか見ないから▽すぐ投稿を削除できる▽との考えは大きな間違い。本名は簡単に暴かれるし、投稿はさまざまなサイトに転載されるかもしれない。  
昨年は従業員の不適切な投稿で店が営業停止になったり、投稿者の学校名や名前、顔写真や住所が暴かれるケースが相次いだ。安易な書き込みが重大な事態を招く。ある調査では、企業の5割以上が採用時に内定候補者のSNSをチェックし、うち1割が不採用にした経験があるという。  
トラブルから子どもを守るには二つのアプローチが不可欠。

### 今後の例会

岡山会場 12月16日午後5時半から、ホテルグランヴィア岡山▽津山会場 17日午後0時半から、津山鶴山ホテル  
みずほ総合研究所調査本部経済調査部長

「2015年日本経済のシナリオと論点」アベノミクス3年目の景気を読む」

矢野和彦氏

山陽時事問題懇談会は会員制。入会申し込み、問い合わせは山陽新聞社内の同懇談会事務局(086-803-8210)。